

目 次

特集 火山防災と情報

火山防災と情報——御嶽山噴火と今後の火山防災（特集の趣旨）	関谷 直也	1
火山のハザードマップ：火山災害の軽減に向けた課題を探る	宇井 忠英	2
モニタリングと警戒避難の隙間—噴火災害での減災総合力のありかた問う	岡田 弘	8
火山災害をどう伝えるか—御岳山の噴火に学ぶ	加藤 大和	16
既往災害から考察する噴火災害の情報問題	木村 拓郎・宮下 加奈	20
火山防災等に寄与する市民活動の事例について	新堀 賢志	24
御嶽山噴火災害の教訓	藤井 敏嗣	27
新しい降灰予想について	山里 平	30

投 稿

[論 文]

自治体の災害対応行動計画策定に資するネットワーク図原型の作成—阪神・淡路大震災を事例として—	古林 智宏・河田 恵昭	34
Development of Prototype Network Diagram for Incident Action Planning of Local Government—Through the Case Study of 1995 Great Hanshin-Awaji Earthquake—	Tomohiro KOBAYASHI・Yoshiaki KAWATA	47
避難情報伝達実験に基づいた情報伝達手段と情報伝達指標の関係に関する考察	鈴木 猛康	56
Influence of Communication Tools on Transmission Characteristics based on the Evacuation Information Transmission Test	Takeyasu SUZUKI	57
地上気象観測に基づいた豪雨推定手法の一提案—豪雨の指標化モデルとその評価—	廣井 慧・妙中 雄三・加藤 朗・砂原 秀樹	58
A Proposal for a Rain Estimation Method based on Surface Meteorological Monitoring Networks—Design and Evaluation of an Indicator Model to Estimate Heavy Rain—	Kei HIROI・Yuzo TAENAKA・Akira KATO・Hideki SUNAHARA	65

「地震予知は困難」とする報道発表への住民反応に関する分析	及川 康・片田 敏孝 66
An Analysis on General Peoples' Opinions toward the Impossibility of the Earthquake Prediction	Yasushi OIKAWA・Toshitaka KATADA 73
SNSを通じた防災教育による知識構造の拡大と深化	小林秀行・池尻良平・黄欣悦・地引泰人 大原美保・田中淳・吉川肇子・藤本徹・山内祐平 74
Expansion and cultivation of knowledge structure on disaster education through SNS Hideyuki KOBAYASHI・Ryohei IKEJIRI・Xinyue Huang・ Yasuhito JIBIKI・Miho OHARA・Atsushi TANAKA・ Toshiko KIKKAWA・Toru FUJIMOTO・Yuhei YAMAUCHI	86
緊急地震速報の特徴を活かした自動放送装置の開発	鷹野 澄・鶴岡 弘 87
Development of Automatic Broadcast Equipment Utilizing the Feature of Earthquake Early Warning	Kiyoshi TAKANO・Hiroshi TSURUOKA 95
[調査報告]	
大雨災害に関する避難行動意識調査（三重県紀宝町）	草野 富二雄・横田 崇・松尾 一郎・新元 明生・赤石 一英 96
東日本大震災が西日本沿岸地域住民の防災意識・行動に与えた影響の経年変化	金井 昌信・片田 敏孝 101
東日本大震災以後の学校防災教育の現状—効果と課題—	金井 昌信・片田 敏孝 110
[事例研究]	
企業協賛による災害情報設備設置の方策と課題—横浜市上大岡の事例を中心とした考察—	黒澤 之 119

活動報告

日本災害情報学会 2014 年度の主な活動	学会事務局	125
日本災害情報学会「廣井賞」2014 年廣井賞授与式・受賞記念講演 (2014.10.26)	廣井賞表彰審査委員会	126
日本災害情報学会第 16 回学会大会記念シンポジウム「中越大震災と復興情報」・「中越から東日本大震災へ」 (2014.10.25)	第 16 回大会実行委員会	129
第 17 回災害情報勉強会「災害情報論の可能性 (吉井博明先生)」 (2014.06.07.)	企画委員会	130
第 18 回災害情報勉強会「広島豪雨災害 (平成 26 年 8 月豪雨)」 (2014.10.04.)	企画委員会	131
第 19 回災害情報勉強会「特別警報運用開始から 1 年」 (2014.11.29.)	企画委員会	132
公開シンポジウム「阪神・淡路大震災から 20 年—今、ライフラインはどうなっているか—」 (2015.01.24.)	企画委員会	133
学会誌編集委員会関連規定及び投稿に関する規定		134
編集後記	学会誌編集委員会	136

表紙

写真左：盛土した場所に建設された陸前高田市の災害公営住宅に入居開始
(2014 年 11 月 26 日 静岡大学 牛山素行撮影)

写真右：土石流により多数の犠牲者を生じた広島市安佐南区八木 3 丁目
(2014 年 8 月 21 日 静岡大学 牛山素行撮影)

